

命を救う携帯メール

- (1) 「国境なき医師団」とともにケニアでボランティア活動をしているアメリカ人外科医が、携帯メールを使って救命のための脚の切断手術を女の子に行った。
- (2) 匿名希望のその外科医が女の子に会ってみると、切断手術をしなければならないことがわかった。
- (3) そのときほんの 15 歳だった女の子は、川で釣りをしていたところをカバに襲われてひどい傷を負ったのだが、カバは彼女の左足を食いちぎるとようやく退いた。
- (4) その外科医はこれまでそういった手術をしたことが一度もなく、手術にはいろいろと高い危険が伴うことにもうんざりした。
- (5) 彼女には切断手術を行うしかなかった。
- (6) しかし、彼女はそういった手術の経験のある古くからの同僚に携帯メールを打つことにした。
- (7) 彼は直ちに喜んで返事をくれて、彼女に何をすべきか、そしてどうすべきかを順を追って伝えた。
- (8) 女の子は今ではすっかり回復している。
- (9) 将来その外科医が彼女の足の関節部のへこみに義足を取り付けることになっている。